

本人はまだ3歳なので、父親がこの文を書かせていただきます。名前の「大樹」はダイキと読みます。タイキ・タイジュでも良かったのですが、本人を呼ぶ時に「タイちゃん」より「ダイちゃん」の方が力強く響き、また、「タイジュ」より「ダイキ」の方がカッコいいのでダイキとしました。



命名に際しては、中々決まらず大変でした。名前は一生ものですし、名は体を表しますので、思い悩みました。「大樹」は「紅の歌」という歌の一節「君よ大樹と仰ぎみん」から採りました。この歌は来るべき21世紀に、現在の青年達が大樹のように大きく成長してほしいとの願いが込められており、我が子も21世紀を舞台とする世代ですので、この歌のように大きく成長してほしいと願い、命名しました。

大樹は大地に大きく根を張り、大きく枝葉を伸ばします。我が子も地にしっかり足を付け、世に役立つ知識・教養等を貪欲に吸収し、大きく成長してほしいと願っています。

また、我が家の姓は「木村」ですが、「緑」がらみです。「大樹」も緑がらみです（因みに大樹の姉も「優花」で緑がらみです）。「緑」は最近注目を集めている地球環境問題に重要な役割を担っています。このような名前を持った我が子には、特に緑を大切に、環境を考えた生き方・行動を心掛けてほしいと思っています。

私も親としてこのような命名をした以上、子に模範となるべく生き方・行動を心掛け、子供ともどもの成長をしてまいりたいと思います。（父）

午前7時15分、大きな産声をあげて生まれた。

およそ10時間前、義祖父が曾孫の顔を見ることなく、亡くなった。

お正月に会った時こたつで、「まだ生まれんとかい？」と何度も聞いて、楽しみにしていたのに……。

私たち夫婦が、悩みに悩んで考えた3つの名前の中から、義祖父が選んでくれた名前、それが、大樹です。

大工を職業とし、大きな樹といつもいっしょだったんだと思い、大賛成をしました。

命日になるとまわりの人たちから、「生まれ変わりだね」と言われ、まだキョトンとしていた大樹。

でもいつかは、義祖父のように、人に優しく、人から好かれる人になってほしいと願っています。（母）



昨年、社内同期入社同士で結婚しました。

入社して、初めての会話は「大樹町のご出身ですか？」というような内容だったと思います。

実家の近所に大樹町出身の方がやっている本屋さん（大樹書房）があったもので……。

世の中、いろいろな出会いがありますね。



二人目の子のせいか、なぜか中々名前が決まりませんでした。ただ男の子なので、大らかでスケールの大きな人間に育てて欲しいという思いはありました。だから、「大」という字は使いたかったです。大輔という名前も候補に上がりました。



私が高校時代の同級生で、大樹(ひろき)という名前が妙に印象に残っていました。別にその男の子が好きだったわけではないのですが、名前は気に入っていたのかもしれませんが。だから覚えていたのだと思います。そして結局この名前をつけました。大きい樹のように大らかに育て、周りの人にやすらぎやいこいを与えられるように。時には雨風から守ってあげられるように。そんな思いをこめてつけました。今年6才になりますが、身体も大きめで、優しい子に育っています。(母)

京都市向日市の大樹さん

特別住民番号982

大きな木が空に向かって、青々と葉をしげらせて立っている…そんなイメージで名前を付けました。

昨年、北海道に行ったのですが、残念ながら大樹町には行くことができませんでした。

でも帰りのフェリーの中で大樹町のカマンベールチーズを食べました！ Good！(母)



北海道札幌市の大樹さん

特別住民番号985

「大樹」という名前は、お腹の中に居る時から、決まっていた。

初めての子供でもあり、男の子と判っており、又パパが、どうしても自分の字を使いたいと言う希望もあり、それにその頃パパの担当市場が変わり、帯広に出張に出る事が多くなり、「大樹町」から「ビビツ」と来るものがあつたのか、突然出張から戻ると「大樹」に決めたと言いました。



ちなみにパパは、真っすぐな樹と書き、真樹と言います。そして大きく健康で、樹のようにしっかりと、そして、何事にも動じない立派な男のひとになって欲しいと言う事で命名しました。

もうすぐ3才になります。毎日元気に走り回り、命名通り本当に何事にも動じないマイペースな性格です。でも、妹にもとっても優しいお兄ちゃんに育ったと感じます。これから益々元気な姿を見せてくれるのが、親として、とても楽しみでもあります。(母)

東京都世田谷区の大樹さん

特別住民番号987

1994年4月28日、午前6時50分、まちにまった赤ちゃんが誕生しました。3838g、とても大きな男の子でした。いろいろ名前を考えてはいたものの、生まれてきた赤ちゃんと対面して改めて考え直すことになりました。「大きく生まれたので『大』の字をつけよう」と主人と私の意見は一致、でもそれからが大変でした。『だいき』という呼び名が決まり、漢字はどうする、画数は……いろいろ悩んだ末、「大樹」に決定しました。谷の大きな樹のようにすくすく育ってほしいという願いをこめて。主人と私の大切な宝物ということで二人で名付けました。両家初孫ということもあり、それはそれはかわいがられて大事に育てられています。孫の数は増えても、つねに大樹が一番、最初に生まれたというのは得だなとつくづく思います。



大樹が生まれてまもなく、浦河町に住む伯父夫婦が車をとばして大樹神社にお参りに行ってくださり、お守りを送ってくれました。今でも大切にもっています。その後、縁が

あり、特別住民にさせていただくことになるとは夢にも思っていませんでした。

2才半で、弟『大河』が生まれお兄ちゃんになりました。「あんちゃん」と呼ばれケンカもしますが、弟思いのやさしい兄です。4才の時、一番かわいがってくれた母方の祖父を亡くし、悲しみながらも周りを気づかう本当にやさしい子です。

今、5才になり毎日楽しく幼稚園に通い、身体の大きさもクラスで2番目。すくすく育っています。目をキラキラさせて、大樹という名がピッタリの男の子になっています。(母)

大阪府寝屋川市の大樹さん

特別住民番号988

貴町のホームページを長男にも見せたところ、読みこそ違え、同じ漢字の町が北海道にあることを知り感激しておりました。

早速地図帳を引っ張り出して大樹町の位置を確認し、丸印をつけておりました。

実は、祖母が以前北海道に何回か旅行したことを子供らが聞きつけ、今年の夏休みは「北海道に行きたい！」の連発。「そのうちにな」とごまかしておりましたが、長男が「特別住民」に登録頂けるとなると、「そのうちに」では済まなくなるかもしれません。

考えてみると、私には「き」の付く名前の家族がたくさんいます。

私の母が「きさ子」、兄は「茂樹」(しげき)、私自身「真樹」(まさき)、私の長女が「香月」(かづき)、そして長男が「大樹」(ひろき)です。

名字が「都竹」と画数が多いので、名前も画数が多くないとすわりが悪いと、父が好んで「樹」を付けました。

実は、長女が誕生時、男子を欲していた私は「一樹」(かづき)と言う名前を当初より考えておりました。女の子の名前を全然考えていなかった為、長女が産まれてはたと困り、読み方は「かづき」そのまま、漢字をあてて「香月」とした苦肉の策でしたが、「都竹香月」はどこか芸名のように本人も気に入っているようです。その内結婚して、名字が変わるかと思うと、いまから少し寂しい気持ちになってしまいます。

長男誕生時、こんどこそ「一樹」(かづき)と考えたのですが、一家に「かづき」が2人いてはややこしいと、妻が「大樹」(ひろき)を提案した次第です。大きく育ての願いを込めて。

普段亭主関白であり妻の言うことは聞き入れない私ですが、この時ばかりは、「それだ！」と産院のベッドの妻を抱きかかえたことが思い出されます。父、そして私の「樹」に対するこだわりを妻も理解してくれていたのがうれしかったのです。

大樹よ、健やかに！

そして、大樹町の益々のご発展をお祈り申し上げます。(父)



北海道千歳市の大樹さん

特別住民番号989

大樹町の皆様、初めまして、千歳市の『小林大樹』です。

(生年月日 昭和62年2月1日)

お父さんが、名字は小さい林だけど、その中で大きな樹になってもらいたいと、付けてくれたそうです。

ぼくは、自分の名前がとても好きです。



熊本県白水村の大樹さん

特別住民番号992

ぼくは、熊本県の阿蘇に住んでいる小学六年生です。

ぼくの名前は、父がつけてくれました。

「大きな樹のように、すくすくと育ち、広い心を持つ子でありますよう



に」という由来でつけてくれたそうです。

「キリハラ ダイキ」ではなく、「キリハラ タイキ」の方が、ひびきもよかったので、そう付けたそうです。

生まれて1年ぐらいは、父の仕事の関係で、福岡の柳川に住んでいたそうです。ぼくは、「ウナギ」が好きなのでそのせいかなと思ったりします。

今は、自然の川や阿蘇山が見えるきれいなところ「白水村」に住んでいます。特に「白川水源」は有名でぼくの家近くにあります。

北海道の「大樹町」も一度行ってみたいです。
